

国指定史跡

大友氏 遺跡

令和7年度版

最新の調査成果と発掘調査のながれ



大分市教育委員会

戦国時代の居館として屈指の規模を誇る「大友館」

おおともやかた

大友館は、大友氏歴代の当主が領国を治めるための拠点として整備された館です。1573年（天正元）頃、宗麟^{そうりん}から息子^{よしむね}の義統^{かとうそうぞく}への家督相続を契機として大改修が行われ、1586年（天正14）の島津氏による豊後侵攻により廃絶するまでの間、館の規模も東西約200m、南北約200mと、広大な敷地をもっていました。現在は国指定史跡大友氏遺跡の一つである「大友氏館跡」としてその面影を今に伝えています。

⑤ 館跡からの出土品

儀式・儀礼で使用された多量のかわけや、全国でも出土量の少ない高級陶磁器^{とうじき}である中国元時代の梅瓶片^{めいびん}や、青磁の器台片^{せいじ やくがたきだい}（夜学型器台）が出土。



④ 館の中心建物跡

中心建物跡は、館のほぼ中央に南北29m、東西16mの範囲で確認。

北

西

南

東

① 巨大な庭園跡

館南東部において、巨大な池庭が存在。池は東南67m、南北30mの規模。

② 館の周囲を廻る施設

館東辺と南辺の一部は築地^{ついで}と推定。ほかは溝2条の間に土塀^{どべい}が建つ構造。

③ 館の規模

館の敷地は、1辺約200mのほぼ正方形。

調査区

大友館イメージ CG

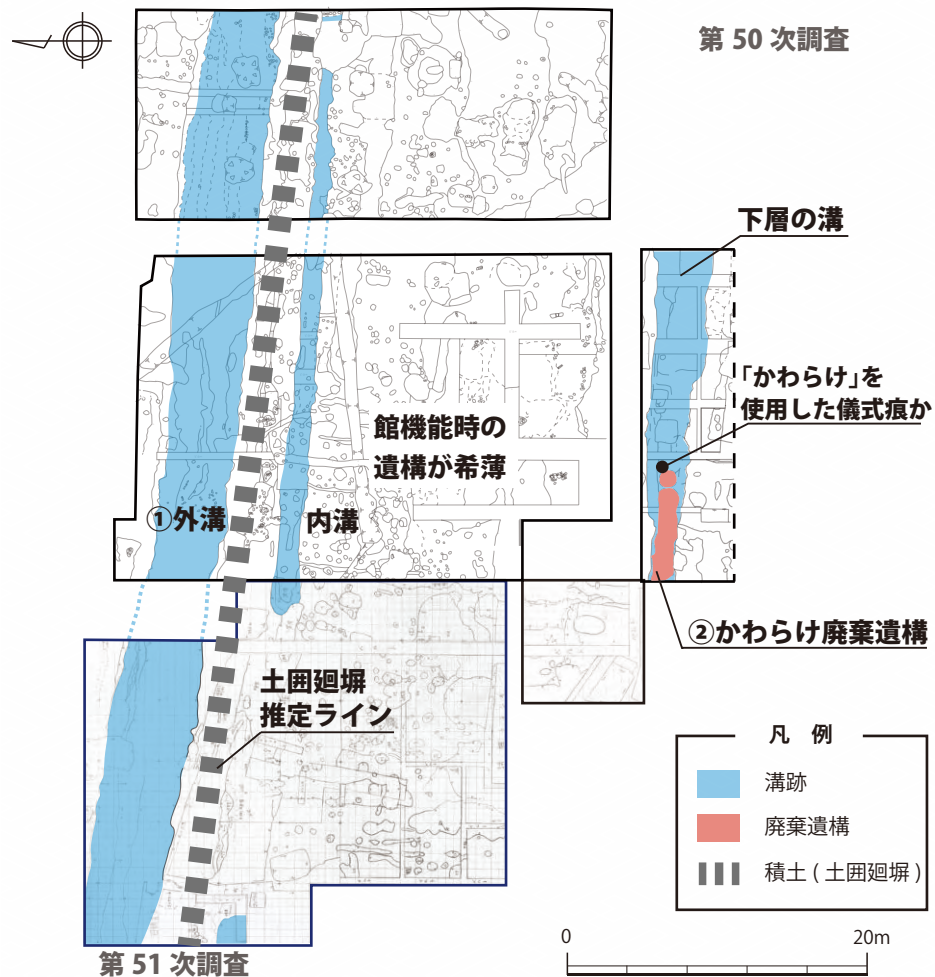


16世紀後半[宗麟(義鎮)～義統期]の大友館【北東エリア】

大友館は、16世紀後半の大友宗麟と息子義統の頃に敷地が一边約200m四方の最大規模となります。大友館の周囲は、幅約4m、深さ約1.8mの大溝（外溝）と、内側に幅約2.3m深さ約1.6mの溝（内溝）が二重に巡る外郭施設が確認されました。また、外郭の内側では大量のかわらけが廃棄された遺構を確認しました。



大友館空中写真（西から）



大友氏館跡 50・51 次調査区遺構図

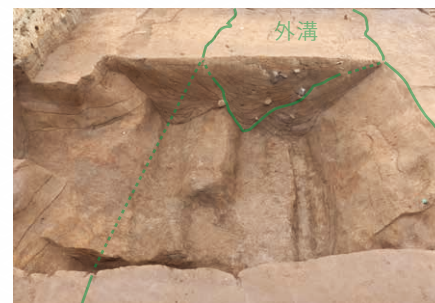
①外溝・内溝(土田廻堀)

大友館の北・西・南の屋敷境にあたる調査地点では、館を囲むように並行する2本の溝跡と、2本の溝跡に挟まれた幅約4～4.5mの空間に粘土と砂を交互に積み上げた積土が確認されています。

北外郭の調査では、溝を2～3回にわたり掘り返している状況を確認することができました。また、溝底は西から東に向けて深くなっていることから、水を東側に流す意図があったと考えられます。

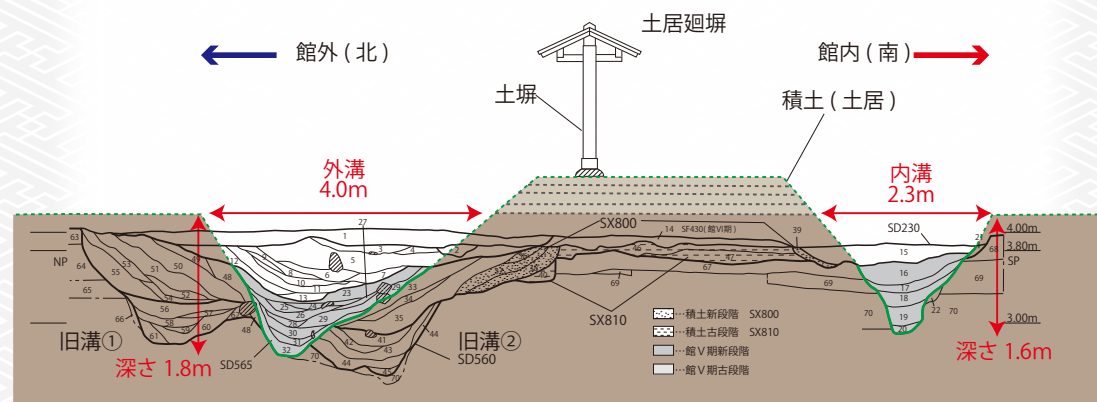
文献史料には、大友館の外郭施設を表す言葉として「土田廻堀」の記載が登場します。これは、元亀3年(1572)～天正元年(1573)頃に出された大友宗麟と義統が豊後国内の諸郷莊宛てに「土田廻堀」の建設を命じた文書であり、義統の家督相続に伴い「土田廻堀」の整備を行ったことが分かります。

「土田廻堀」の言葉から、土居の上に土堀が構築された構造がイメージされます。



外溝の状況

出典：大友館研究会 2022『戦国大名大友家の年中行事と館』
八木 直樹 2021『戦国大名大友氏の権力構造』



16世紀後半の大友館北外郭イメージ

はいき

A stack of five circular, light-colored objects, possibly ancient pottery or stone discs, arranged in a slightly overlapping manner on a dark surface. The objects have a mottled, aged appearance with some darker spots and a slightly irregular edge. They are stacked in a way that shows the top of the largest disc and the edges of the four smaller ones underneath it. The background is a dark, textured surface.

ぎしきあと

A small, light brown, rounded object, possibly a piece of pottery or a small bowl, with a slightly flared rim and a small hole in the center of the top surface.

おびただ

A large pile of discarded, broken, and discarded ceramic or pottery fragments scattered on a sandy beach. The fragments are mostly light-colored, possibly white or cream, and are in various states of disrepair, including cracked, chipped, and shattered pieces. They are scattered across the sand, with some larger, more intact pieces visible among the debris. The background shows a sandy beach with some sparse vegetation and a clear sky.

A shallow, oval-shaped dish made of light-colored stone or ceramic, showing signs of wear and discoloration. The dish is centered on a white background, with a soft shadow cast beneath it. The material has a mottled appearance with some darker spots and a slightly irregular rim.



発掘調査のながれ

調査開始！！



1 表土の除去

土の色などを見極めて
います★



最初は、土層を確認しながら遺跡がある深さまで重機で掘ることからはじまります。



ショベルカー

◆使用する道具

2 遺構の検出

平らにけずるのは結構ムズカシイ



機械で掘り下げを行ったのち、手作業で丁寧に地面をけずって遺構を探します。



スコップ

◆使用する道具



平くわ

3 遺構の確認

ポケットにMY五寸釘
入ってます。



遺構が見つかったら、遺構の範囲に釘などを使って線を引いてしるしをつけます。



◆使用する道具



手ガリ

4 遺構の掘削

遺物は貴重な
てがかりになるので、慎重
に掘り進めない...



線を引いた遺構の内と外の土のようすを見分けながら、掘り下げます。この時、土器などの遺物が土の中から出てきます。



◆使用する道具



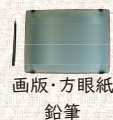
移植こて

7 遺構の実測

そのままのサイズでは描けないので
測った長さを頭の中で縮小して
1/20だとか1m=5cmだから...



掘り終わった遺構や出土した遺物は、どのような状態でどこから出てきたのかを図面に記録します。



画版・方眼紙
鉛筆

◆使用する道具



コンペックス



測量機器



スタッフ

8 空からの撮影

最近では
ドローンが
大活躍!!



最後に発掘調査地の清掃を行ったあと、空からヘリコプターなどで調査地を撮影し、遺跡の記録をとります。



ラジコンヘリ・カメラ

◆使用する道具

5 遺物の発見

光と影を見極めて～
バシヤリ!



土器は丁寧に取り上げ、ラベルに必要事項を記入し、袋に入れて持ち帰ります。



竹ペラ



ハケ



○
大友氏館跡
第51次
S-100
2024. 12. 20
ラベル

ラベル

◆使用する道具

6 写真の撮影



掘り終わった遺構や土器がでている状態で、きれいに掃除をして、各種カメラで撮影を行います。



カメラ

◆使用する道具

整理作業のながれ

整理作業開始!!



1 水洗い

遺物の状態を見極めて
やさしくブラッシング



遺物についた土や泥を、ブラシを使って洗い落とします。その時、壊れたりしないように気をつけます。水洗い後、遺物を乾かします。



◆使用する道具

2 ナンバリング

まさに職人技!?



見つかった場所がわかるように、遺跡名・遺物番号を遺物に小さく書きこむ作業を行います。



◆使用する道具

3 接合

仲間が見つかってよかったね★



ナンバリングが終わった後、遺物の破片どうしを接着剤で接合し、復元していきます。



◆使用する道具

4 復元

石膏部分に色をつけて本物のように
復元することもあります



接合しても遺物の破片がみつからなかったところは、石膏などの補修材をすきまに埋めて、遺物の復元を行います。



◆使用する道具

5 実測

まずはじっくり観察しよう



三角定規・マーコ・キャリパー・ディバイダーなどを使って、遺物を正確に計測し、図面を作成します。



◆使用する道具

6 トレース

土器の特徴をくみ取りながら、
ていねいになぞっていきます



製図用のペンやパソコン用の図面作成のソフトを使って、図面をきれいに仕上げます。



◆使用する道具

7 報告書の作成

遺構・遺物の解説や調査の概要
などを文書にまとめます



遺物の整理・分析が終わると、調査報告書としてまとめるために原稿の作成を行います。



◆使用する道具

8 報告書の刊行



調査報告書ができあがった後は、主な図書館などに配布され、郷土の歴史学習や地域研究などに広く活用されます。遺物も収納され、展示の公開や地域の歴史を紐解く資料として活用されます。



図書収蔵状況

出土品収蔵状況

大友氏遺跡出土品

土師器

大友氏館跡の出土品の大半を占める。
儀式・儀礼等で使用されたと考えられる。

※大友氏館跡や中世大友府内町跡で出土したものを集めました。



土師器 (皿 C)



土師器 (坏 B)



土師器 (坏 A)



土師器 (耳皿)



犬形土製品 「安産のお守り」などの意味があったと考えられる。

木製品



漆器椀

国産陶器

交易により各地域からもたらされた焼物。



国産陶器 (備前産・瀬戸美濃産)

茶道具



備前播鉢



石製品

石臼



金属製品

甕



分銅



小札

外国産陶磁器

大友館の座敷飾りとして使用されたと考えられる高級陶磁器など、府内の町からも外国産の陶磁器が多数出土している。



青花梅瓶

中国の元の時代に作られた壺の破片で、当時の日本では高級品。



中国産

華南三彩鸞形水注



青磁



白磁



青花

青花五彩碗



翡翠釉小皿



青磁 夜学型器台

タイ産

ベトナム産



ベトナム産陶器長胴壺

朝鮮産



朝鮮陶器碗

タイ産陶器四耳壺

砂糖や硝石を運ぶ容器として使用されたと考えられる。

ミャンマー産



ミャンマー産陶器壺